



インリーチとは !?…

演奏者などが学校や地域の施設へ出かけて、皆さんに文化や芸術を届ける活動をアウトリーチ活動と言います。インリーチ活動はその反対で、皆さんに公共のホール等まで足を運んでもらい、本物の舞台芸術に触れていただく機会を提供する活動のことです。



サックス四重奏 JSB どうぶつの森カルテット

令和7年度インリーチ事業(第1回公演)

プ ロ グ ラ ム



令和7年 11 月 21 日 (金)

10:00 開場 10:15 開演予定

シビックセンター4階さくらホール

主 催 : 徳 島 市 / (公財) 徳島市文化振興公社

プログラム

♪あつまれ どうぶつの森

Nintendo Switch の人気ゲームソフト「どうぶつの森」シリーズの第7作目。
キャッチコピーは「何もないから、なんでもできる」略称は「あつ森」。

♪オオカミなんかこわくない F.E.チャーチル

「三匹の子ぶた」はわらの家、木の家、レンガの家をそれぞれ建てた三匹の子ぶたがオオカミに立ち向かう有名なイギリス民話。怠け者の兄さん二匹が建てた家はオオカミに吹き飛ばされますが、勤勉な末っ子が建てたレンガの家は吹き飛ばされず、最後にはオオカミを退治します。

♪猫のフーガ（ト短調フーガ K.30-L.499） D.スカルラッティ

フーガとは主題（一つのメロディ）を複数の声部が追いかける、まねっこをしながらそれぞれが変身していく音楽です。17 世紀のイタリア、ナポリ生まれの作曲家ドメニコ・スカルラッティはチェンバロの鍵盤の上を彼の猫が歩いた「ソーシトーミトーフア＃ーシトード＃ー」のメロディをフーガにしました。4 匹の猫が互いのしっぽを追いかけるように演奏します。

♪組曲「道化師」より第二曲 ギャロップ D.カバレフスキー

ギャロップは馬術で最速の駆け足を意味します。ロシアの作曲家カバレフスキーは子どものための優れた作品を多く残し、日本ではネッケ作曲「クシコス・ポスト」などと並んで運動会の音楽として親しまれています。

♪動物の謝肉祭～どうぶつたちの大幻想曲～より 白鳥 C.サン・サーンス

テナーサックスはよく見ると白鳥と同じ首のかたちをしています。サックス吹きのかわえていた黒い部分はフランス語でベック（くちばし）と言います。もとはチェロのために書かれた、湖の上をすべる白鳥のように美しいメロディです。

♪Under the Sea アンダー・ザ・シー A.メンケン

映画「リトル・マーメイド」でカニのセバスチャンが歌うこの曲はカリブ海発祥のリズム、カリブソに乗って海の世界の楽しさを表現しています。

♪動物の謝肉祭～どうぶつたちの大幻想曲～より 化石 C.サン・サーンス

サン・サーンス自身の「死の舞踏」の旋律を中心に「きらきら星」など過去の有名なメロディを引用して「音楽の化石」と皮肉った、ダジャレのような曲。ん？「ダジャレ」が既に化石でしょうか？

♪生命の奇跡～Song of Life for Saxophone Quartet～ 村松 崇継

この曲は 2011 年に放映された NHK ドラマ「マドンナ・ヴェルデ」でイギリスのボーイソプラノユニット Libera(リベラ) が主題歌として歌い同年 3 月 11 日に発生した大震災直後の傷ついた全ての魂への祈りとして多くの人の心に届いたメッセージとなりました。



アーティストプロフィール

JSB どうぶつの森カルテット



ソプラノサックス：新田 恭子^{にった きょうこ}

京都女子大学文学部教育学科音楽教育学専攻卒業後、渡仏（1989～1992）。パリ・スコラカントルムにてフロランス・シャロンに、パリ市立16区コンセルヴァトワールにてジャン＝イヴ・フルモーにクラシックサクソフォンを師事。在学中パリ市立コンセルヴァトワール吹奏楽団員として活動。パリ市立コンセルヴァトワール総合コンクール1等賞を得てサクソフォン高等科修了。大塚ヴェガホール、鳴門市ドイツ館にてソロコンサートを開催。NHK交響楽団首席奏者の山口裕之氏とD.ミヨの「天地創造」をソリストとして協演するほか、2010年東京すみだトリフォニーホールに出演。小中高大吹奏楽部にて幅広くサクソフォン奏法指導を行う他、合唱指揮者、コンクール審査員も務める。J.S.バッハ文化センター主宰。



アルトサックス：川口 麻紀^{かわぐち まき}

中学の吹奏楽部でアルトサックスを始めたのをきっかけに、サックス&人と演奏することが大好きに。大学時代はオーストラリアでQueensland Wind and Brassに所属、社会人になりブランクを経て仕事と子育ての傍らママブラスananmamanで演奏活動を再開しました。

現在は徳島吹奏楽団に所属。Liens Saxophone Quartet (Trio) アルトサックス担当。他ご縁のある方々と楽しく演奏させて頂いています。



テナーサックス：久保 沙織^{くほ さおり}

小学3年でピアノを習い始め、小学4年で金管バンドに所属し、トランペット、シンセサイザー、ユーフォニアム、トロンボーンを担当。

中学1年の時にサックスとの運命的な出会いを果たす。

その後、高校、大学では吹奏楽部に所属し、社会人楽団での活動を経て現在に至る。

仕事、家事、育児で慌ただしい中でもサックスを吹く時間は確保している。



バリトンサックス：笠井 美津子^{かさい みつこ}

中学の部活でクラリネット、サックスに出会い、吹奏楽、アンサンブルの楽しさを知り青春を捧げる。その後、子育て時期に子供に音楽の素晴らしさを広げたいと思い立ちサックスを再開。

現在は阿南シンフォニックバンド、Liens saxophone quartet 所属。

ライフワークとして、これから出会うたくさんの人達と音楽を楽しむ為に、訪問演奏やライブ活動を行っている。

